

2009（平成 21）年度

第 2 回通常総会 議案書

日 時 2010 年 7 月 11 日（日） 13 : 30 ～ 14 : 15

場 所 とよた市民活動センター
愛知県豊田市若宮町 1 丁目 5 7 番地 1
A 館 T - F A C E 9 階（松坂屋上階）

通常総会 次第

1. 開会のあいさつ
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選出
4. 定足数の確認
5. 議案の審議
 - 【審議事項】 第 1 号議案 2009 年度事業報告（案）
 - 第 2 号議案 2009 年度収支決算（案）

 - 【報告事項】 1 2010 年度事業計画（案）
 - 2 2010 年度収支予算（案）
 - 3 役員の辞任について
6. 議長解任
7. 閉会

【審議事項】

第1号議案 2009年度事業報告 (期間 2009年6月1日から2010年5月31日まで)

《 概要 》

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトは、eco-Tで活動する市民が参加体験型の環境学習を通して、持続可能で豊かな地域社会(エコライフとよた)の実現に寄与することを目的に、2009年3月19日に法人登記されました。

2009年度は設立間もないため、団体の基盤整備ならびに、特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会(以下、中リ)が豊田市から受託している豊田市環境学習施設eco-T(エコット)の運営を実地研修(OJT)として行い、4月より当団体が運営を受託することができました。当面は中りに支援をいただきながら、42万人のエコライフを目指して事業を実施していきます。

また、eco-Tが愛知県地球温暖化防止活動推進センター豊田支所に指定されていることで、「生活CO₂排出量削減診断調査実施業務」を受託、実施することもできました。

2009年度の事業の詳細は以下の通りです。

【事業活動】

1. 環境学習事業

(1) 環境学習事業を展開するための基盤整備 (eco-T運営のOJTとして実施)

①環境学習事業

eco-Tの運営を通して、環境学習を実施しようとしている団体との打合せ、学習プログラムの企画や資料作成、市民講師(インタープリター)の派遣などを実施しました。

eco-T運営を通して実施した環境学習講座(出前講座および学校特別対応、視察研修対応)

区分	内容	講座数	参加人数
小・中学校	エコ活動への動機づけ、省エネ、生き方	6校(7回)	217
大学	市民活動、エコドライブ、エコライフ	3	167
こども会	省エネ、紙すき、廃油キャンドルづくり	3	182
行政	eco-T見学、施設運営、市民活動	3	160
交流館	グリーンマップ	2	36
自治区	ごみ分別、くらしの中でできるエコ	5	80
企業	会社や家庭でできるエコアクション	7	257
海外(アジア青少年)	渡刈クリーンセンター見学と展示学習プログラム、世界のごみ処理ワークショップ	2	56
その他(大人向け)	渡刈CC、eco-T見学、他地域市民の視察	12	512
その他(子ども向け)	展示学習プログラムの実施	2	560

合計 48団体 49回 2,217人

②環境学習を推進する人材の育成

eco-T の運営を通して、環境学習を推進するための人材育成を実施した。

区分	内容
施設インタープリター	主に eco-T の展示解説を通してエコライフを伝える人材の育成 成果：13名受講、12名修了、10名ボランティア登録
地域インタープリター	主にイベント出展を通してエコライフを伝える人材の育成 成果：6名受講、5名修了、5名ボランティア登録
学習コーディネーター	学校や地域の要望と eco-T を結び付ける人材の育成 成果：12名受講（うち4名は事務局）、8名が実地研修
講座の運営スタッフ	エコ人理事が eco-T の講座やイベントの企画運営を担えるようになる 成果：当日の運営は学べたが、企画や準備を担うには課題がある

(2) 試行的な環境学習講座の実施

eco-T の運営以外に、主に交流館からの要請を受けて、当団体が直接、環境学習講座を実施することができました。交流館職員など相手の要望を聞き出したうえで、プログラムを企画・提案し、講師派遣または直接講座を実施しました。実施後は、毎回ふりかえりを行い、質の向上を図りました。

講師や学習コーディネーターは、eco-T で活動、トレーニングを積んだ会員・理事が担当しました。

区分	内容	参加人数
高橋交流館	・環境問題のレクチャー	250
梅坪台交流館	・廃油キャンドルづくり、生活排水のレクチャー ・廃油せっけんづくり、エコ家事の情報交換	35
益富交流館	・ごみ処理の現状のレクチャー ・廃油キャンドルづくり、夏休みのエコ行動報告	40
井郷交流館	・親子エコクッキング（買い物から片付けまで）	7
崇化館交流館	・新聞紙ペパバッグづくり、環境問題のレクチャー	100
トヨタ自動車広瀬工場	・ごみのレクチャー、ポスターでペパバッグづくり	35
美里交流館	・廃油キャンドルづくり、環境紙しばいの実演	8

合計 7施設 9回 475人

年度当初目標 学習者 30名×7回=210名 → 達成率 226%

【参考】 eco-T の運営分と当団体が直接対応した環境学習事業の成果（のべ回数、人数）

区分	eco-T の OJT 分		当団体の直接実施分		合計	
	講座（回）	人数（人）	講座（回）	人数（人）	講座（回）	人数（人）
小・中学校	7（6校）	217			7	217
その他	42	2,000	9（7施設）	475	51	2,475
合計	49	2,217	9	475	58	2,692

（3）エコドライブ市民を増やすための取組み事業

豊田市が市民活動団体（自治区、コミュニティ会議、NPO、ボランティア団体など）と協力・連携して取り組みたいと考えるテーマについて、市民活動団体からの事業提案を募集して、評価及び協議・調整を経て事業化するための「共働事業提案制度」のひとつ『エコドライブ市民を増やすための取組み事業（当時交通政策課担当）』に応募しました。実施主体は、eco-T で開催され地域インタープリター育成講座（2008年度実施）で出会った6人の市民で構成している「チーム南家」です。

他に競合する団体がなかったこと、メンバーが模擬的な家族となって演劇風に伝えることがユニークであること、専門的ではない市民らしい伝え方が評価され、平成22年度の共働事業者として内定を頂きました。

事業の実施に向けて豊田市と協議を重ね事業内容を検討するとともに、講座の準備を進めています。

2. 環境学習等の支援、連携事業

（1）支援、連携事業を展開するための基盤整備（eco-T 運営の OJT として実施）

eco-T の運営を通して、環境学習や環境まちづくりを行う団体等への支援、連携を図るための基盤整備として、下記の事業を行いました。

区分	内容
相談対応	17件（市民団体、大学、企業、行政、マスコミ等） 内容は、出前講座やイベントの企画相談、講師派遣要請、市民活動や環境学習に関するレクチャーの要請、番組の企画や撮影への協力依頼等
環境学習補助教材の整備・貸出	授業や出前講座等で使える書籍、DVD、ソフト等の購入、貸出

(2) 環境イベント等への出展 (eco-T 運営の OJT として実施)

eco-T の運営を通して、環境学習や環境まちづくりを行う団体等からの要請に応じて、下記のイベントに出展しました。

区分	内容	回数
交流館祭	省エネ宣言で CO ₂ 削減、ごみ分別ゲーム、省エネクイズ	11 回
とよたまちパワーフェスタ (市街地イベント)	エコサイコロトーク、缶バッチづくり、エコ宣言	2 回
桜花学園大学学園祭	エコライフすごろく、箸袋づくり、フリーマーケット	1 回
トヨタ自動車元町工場夏祭りイベント	マイバッグづくり、ごみ分別ゲーム、省エネクイズ	1 回
名古屋刑務所イベント	エコライフすごろく、省エネ宣言、環境紙しばい	1 回
廃棄物学会イベント	eco-T の施設紹介のパネル展示、市民参画のパネル展示	1 回
連合愛知豊田イベント	eco-T の施設紹介のパネル展示	1 回

(3) 環境学習に関する相談対応

当団体に直接相談があったものは下記の通りです。

区分	内容
藤岡交流館	相談：生ごみを堆肥化する段ボールコンポストの講座を開催したいので講師をお願いしたい。 対応：市民講師を紹介した。
下山交流館	相談：エコライフに関する講座の講師派遣を要望。 対応：開催時期が近付いたら要望に応じた講座を企画し、講師派遣を行う。

(4) 各種委員会等への出席

委員会等の名称	内容
H21 年度豊田市中心市街地低炭素地域づくり協議会・ワーキンググループ	豊田市の中心市街地の CO ₂ 削減に向けて、民生部門、商店、大型店舗、インセンティブの検討について調査やワークショップを開催。 調査研究事業の「生活 CO ₂ 排出量削減診断調査実施業務」は、この協議会事業の一環である。

市環境審議会	一般廃棄物の処理手数料について審議 「緑のリサイクルセンター」の設置（2010年7月～運用）に伴う料金設定も含む
環境モデル都市意見交換会	豊田市の環境モデル都市構想に位置付けられている「(仮)環境先進都市を実現するとよた市民の会」の設立に向けた意見交換。結果的にエコドライブプロジェクト実行委員会となる
とよたエコドライブプロジェクト実行委員会	国の環境モデル都市指定を受けて、エコドライブの普及により企業と市民のCO ₂ と交通事故の削減を目指す取組み 環境学習事業の「エコドライブ市民を増やすための取組み」は、市民向け事業として実施する。
矢作川流域圏に関する住民意見懇談会	国交省豊橋河川事務所が「流域懇談会設立」に向けて開催した意見交換会。
愛知県環境学習施設連絡協議会	県の施策の相談と学習施設の情報交換・交流の機会。トヨタの森で開催。
自然観察の森運営連絡会	市内の学習施設の情報交流会。

(5) 豊森なりわい塾事務局の支援

トヨタ自動車株式会社、豊田市、NPO 法人地域の未来・志援センターの3者の主催事業「豊森なりわい塾」の運営に関して、スタッフの派遣を行った。企画・準備・運営や豊田市や地域への橋渡しの支援を行いました。

この事業は、2007年にトヨタ自動車社会貢献推進部の担当職員がエコットに来た時に「地域の学習施設が連携して地域の担い手を育成しませんか？」と提案したことがきっかけです。

3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

(1) リユースのしくみづくり (eco-T 運営の OJT として実施)

eco-T の運営を通じて、おもちゃの交換イベント「かえっこバザール」を年3回開催し、リユース文化の醸成を図ると同時に、子どもたちの主体的な環境活動の場として効果的であることを検証しました。

また、書籍の持寄り共有システムとして「くるっと文庫」を2009年1月開設しました。ゆずりあうリユースの促進に加え、読んでよかったと思う本の交換を通して新しいコミュニケーションが図れることがわかりました。

(2) その他（豊田市の事業等への協力）

①とよたエコポイント

環境に配慮した行動に対して「とよたエコポイント」を発行する制度に協力し、eco-Tの来館者や講座参加者へのポイント付与を行いました。また、エコマネーセンター5周年記念のポイント交換やeco-Tのイベントでの制度活用（まち歩きイベントやエコットフェスタでのインセンティブなど）の企画提案も実施しました。

②省エネナビ

豊田市の持つ省エネナビの活用を図るため、「省エネナビモニター」の募集を行いました。10家庭が2ヶ月間ナビの設置にご協力をいただきました。どの家庭も省エネに効果があったという回答をいただき、eco-Tでの貸出機材としての可能性を見出しました。

4. 調査研究、政策提言事業

(1) 生活CO₂排出量削減診断調査実施業務

社団法人環境創造研究センターが環境省から受託した「平成21年度低炭素地域づくり面的対策推進事業（豊田地域）」の一環として、生活CO₂排出量削減診断調査を実施しました。

2008年にモニターとして参加した78世帯を対象に募集を行い、希望した15世帯が省エネ相談員と話をし、省エネのアドバイスを受けて家庭の省エネに取り組みました。相談員は、eco-Tのインタープリターから希望者を募り、5名が参加、一人3世帯を担当しました。

省エネのアドバイスとその効果測定を行った結果、すでに省エネに取り組んでいた家庭がほとんどでしたが、2ヶ月間の取り組みでマイナス5%のCO₂削減効果がありました。

CO₂と光熱水費の削減につながる効果的な事業であることがわかりました。

(2) 自治体等へのレクチャー（eco-T運営のOJTとして実施）

eco-Tの運営を通じて、関心のある自治体等に対して、市民参画や共働、環境学習施設の運営、環境学習の効果などについてのレクチャーを実施しました。

- ・ 豊田市（新人職員研修）
- ・ 藤枝市
- ・ 尾三衛生組合
- ・ 京都府議会公明党府議団
- ・ 豊田市教育行政課（文部科学省研修生）
- ・ 大分市地域保健委員会
- ・ 福岡市議会
- ・ 小牧市環境対策課
- ・ NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラム
- ・ 豊中市伊丹市クリーンランド
- ・ 安城市環境アドバイザー

5. 情報受発信事業

(1) 情報収集

環境学習や市民活動に関するメールマガジンの受信、専門誌の購入等により、情報の収集に努めました。

(2) 情報発信

とよた市民活動センターへの団体登録、日本財団が提供する公益事業のコミュニティサイト「CANPAN」への登録・ブログ開設など、情報発信事業をするための基盤整備を図ってきました。

6. 環境学習施設等の管理運営事業

(1) eco-T の運営の OJT

2009年度(2010年3月まで)は、中リが豊田市から運営を受託している状況下で、エコ人スタッフおよび理事はeco-Tの運営の現地研修を行いました。

また、平成22年度から当団体が受託できるようにするため、求人を行い、スタッフを拡充しました。

(2) eco-T の運営

現地研修を経て、2010年度(2010年4月から)は、当団体が豊田市から運営を受託し、eco-Tの運営を担いました(エコ人年度は2ヶ月間)。豊田市民が運営することで、「私たちがつくる私たちの学習施設」というeco-Tのコンセプトが達成されました。

7. その他の事業

環境学習や地域活性化を目的とした啓発グッズ(缶バッジ)の製作・販売を行いました。

【法人運営】

1. 会員

正会員 23 名、賛助会員 22 名（平成 21 年度）

2. 寄付等

3 件、計 10,201 円の寄付をいただきました

3. 会議の開催

（1）通常総会

2009 年 7 月 12 日（日）開催、出席者 22 名（うち表決委任者 8 名）

役員を選任、2008 年度事業報告、2008 年度収支決算について審議し、議決しました

（2）理事会

下記の通り、11 回開催しました

回	開催日	主な議題	出席者数
1	6/17（水）	総会準備、eco-T 運営受託に向けて、経営会議の設置	8（1）
2	7/1（水）	総会準備、市共働事業エコドライブ提案、	7（2）
3	7/29（水）	総会ふりかえり、出前講座進捗、eco-T 運営受託に向けて	8（2）
4	8/26（水）	生活 CO ₂ 調査事業、理事研修ふりかえり	8（2）
5	9/30（水）	eco-T の OJT、eco-T 運営受託に向けて、情報発信	8（1）
6	10/28（水）	生活 CO ₂ 調査事業、ヒアリング対応報告、eco-T の OJT、	8（2）
7	11/18（水）	生活 CO ₂ 調査事業、eco-T の OJT、新規採用、労務整備	7（2）
8	1/20（水）	新規採用、出前講座終了報告、情報発信	6（1）
9	2/17（水）	eco-T 運営受託に向けて、信頼される NPO に向けて	7（1）
10	3/26（金）	OJT ふりかえり、労務整備、法人 1 年ふりかえり	6（1）
11	5/12（水）	会員更新と新規獲得、法人 1 年ふりかえり、総会準備	6（1）

※出席者数の（ ）内は、当団体スタッフおよびアドバイザーの出席人数

4. 研修等

（1）組織内研修

中間支援組織のためのワークショップ（講師：地域の未来・志援センター 井上淳之典氏）

（2）研修会等への参加

- ・コミュニティ・ユース・バンク momo への融資相談
- ・労務セミナー（ウィルあいち）
- ・NPO 経営スクール（愛知産業労働センター）
- ・とよた NPO 大学 運営スキルアップ講座（とよた市民活動センター）

第2号議案 2009年度収支決算 (期間 2009年6月1日から2010年5月31日まで)

1. 収支計算書

(単位:円)

科目	金額		備考
I 経常収入の部			
会費収入			
・正会員会費収入	110,000		正会員10,000円×11名
・賛助会員会費収入	26,000	136,000	賛助会員22名、1,000円×26口
寄付金収入	10,201	10,201	4件
事業収入			
・環境学習事業	138,000		交流館・トヨタ自動車広瀬工場出前講座
・環境学習等への支援・連携事業	106,000		共働推進課、豊森なりわい塾
・調査研究、政策提言事業	1,575,000		生活CO2排出量削減診断調査
・環境学習施設等の管理運営事業	6,130,000		豊田市環境学習施設eco-T
・その他の事業	5,700	7,954,700	缶バッチ
その他収入			
・受取利息	91	91	
経常収入合計			8,100,992
II 経常支出の部			
事業費			
・環境学習事業	83,000		交流館・トヨタ自動車広瀬工場出前講座
・環境学習等への支援・連携事業	90,000		豊森なりわい塾
・調査研究、政策提言事業	1,043,025		生活CO2排出量削減診断調査
・環境学習施設等の管理運営事業	5,331,331	6,547,356	豊田市環境学習施設eco-T
管理費			
・給料手当	338,296		
・法定福利費	29,040		
・通信費	27,470		電話代、郵送代
・広告宣伝費	8,200		環境カレンダー
・事務用品・消耗品費	184,360		
・地代家賃	120,000		事務所費
・租税公課	5,650		
・諸会費	10,000		中部リサイクル運動市民の会
・リース料	71,400		業務車両
・支払手数料	203,255	997,671	IT、総務(経理・労務)支援など
法人税、住民税および事業税	212,682	212,682	
経常支出合計			7,757,709
経常収支差額			343,283
当期収支差額			343,283
前期繰越収支差額			93,320
次期繰越収支差額			436,603

2. 貸借対照表

(単位:円)

科目・摘要	金額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	165,884		
普通預金	8,409,265		三菱東京UFJ銀行、豊田信用金庫
売掛金	55,700		
流動資産合計		8,630,849	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			8,630,849
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	472,509		
未払金	2,913,032		5月分給与、社会保険など
前受金	4,265,000		豊田市環境学習施設eco-T
預り金	331,023		社会保険、雇用保険、源泉所得税
未払い法人税等	212,682		
流動負債合計		8,194,246	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			8,194,246
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		93,320	
当期正味財産増加額		343,283	
正味財産合計			436,603
負債および正味財産合計			436,603

3. 財産目録

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	165,884		
普通預金 三菱東京UFJ銀行 豊田南支店	8,148,265		
普通預金 豊田信用金庫 本店営業部	261,000		
売掛金			
事業収入	55,700		
流動資産合計		8,630,849	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			8,630,849
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金			
事業費	472,509		
未払金			
事業費	2,456,512		
給料手当－管理費分	148,980		
法定福利費－管理費分	29,040		
通信費	22,800		
地代家賃	120,000		
リース料－車両	35,700		
支払手数料－IT・総務(経理・労務)支援	100,000		
法人税等	212,682		
前受金			
事業費	4,265,000		
預り金			
社会保険料	258,644		
雇用保険料	7,811		
源泉所得税	64,568		
流動負債合計		8,194,246	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			8,194,246
正味財産			436,603

4. 監査報告

平成 21 年 6 月 1 日から平成 22 年 5 月 31 日までの特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトの決算書類を監査した結果、処理が適正である事を認めます。

平成 22 年 6 月 30 日

監事 石村正行  印

【報告事項】

1 2010年度事業計画 (期間 2010年6月1日から2011年5月31日まで)

《方針》

2010年4月に豊田市から運営を受託した eco-T の運営を充実させるとともに、中部リサイクル運動市民の会に間接部門の支援をいただきながら、エコ人を PR できるような独自事業の事業・活動を探求します。

2010年度の重点テーマ

- ・情報発信できるツールの開発 (社会的な認知・信頼の獲得につなげる)
- ・eco-T の運営の充実、発展 (エコ人の基盤を充実)
- ・新規事業の掘り起こし (eco-T だけに頼らない独自事業)

【事業活動】

1. 環境学習事業

(1) 環境学習事業の充実

eco-T の来館者に満足してもらえるようインタープリテーションの充実を図ります。また、見学団体や出前講座の依頼者の希望に応じた環境学習を実施します。

eco-T の事業以外でも相手の要望に応えられるよう、プログラムを企画・提案・実施します。

項目	内容	目標
インタープリテーションの充実	インタープリターが自主的に企画する学習会の支援やうまく活用されていない既存展示学習プログラムの活用に向けた学習グッズやマニュアルの改訂	インプリ学習会 5回 展示学習プログラムの活用 2件
要望や対象に応じた対応	自治区・サークル、小中学校、高校・大学、企業など対象に応じた環境学習の実施	eco-T 業務 25件 eco-T 以外 5件

(2) 環境学習を推進する人材の育成

eco-T のインタープリターや学習コーディネーター、ボランティア活動の担い手を育成します。

項目	内容	目標
インタープリター	展示解説や出前講座を担う人材の育成	新規 10 人
学習コーディネーター	学校や交流館などの学習事業企画者の要望を聞きプログラムを作成し、市民講師（インタープリターなど）との橋渡しをする人材の育成	メイン担当者を 5 名に
ボランティア	ボランティアを行いたい市民にイベントや講座等で機会を提供し、運営の手伝いをする人材の育成 → 1 日ボランティア体験、大学生ボランティアなど	機会 5 回 ボランティア活動者の のべ 100 名
インターン	eco-T で活動したい人の受入れ	10 名

(3) エコドライブ市民を増やすための取組み事業の実施

「チーム南家」を事業実施主体としてエントリーした「共働事業提案制度『エコドライブ市民を増やすための取組み事業（環境モデル都市推進課）』」を、共働の趣旨に則って協議・実施します。

2. 環境学習等への支援、連携事業

(1) 環境イベント等への出展、企画・運営支援

環境学習や環境まちづくりを行う団体等の要請に応じて、イベントの出展や企画・運営の支援を行います。

(2) 各種委員会等への参加

要請に応じて、委員会等に参加します。

3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

豊田市等と協働して環境配慮型ライフスタイルへの転換などを行っていきます。また、子ども向けのリユース活動「かえっこバザール」の開催支援や中リが行っているリユースステーションの試行を通じて、リユース文化の醸成に向けた事業を試みます。

4. 調査研究、政策提言事業

豊田市民の環境行動の促進や環境まちづくりの推進に向けた情報収集ならびに展開が可能な事業の試行を試みます。また、**eco-T** や当団体の運営を通じて他地域に参考になるようなことがあれば、視察の受入れやレクチャーを行い他地域の支援を行います。

5. 情報受発信事業

(1) 情報収集

環境学習や市民活動に関するメールマガジンの受信、専門誌の購入等により、引き続き情報の収集に努めます。

(2) 情報発信の試行

ホームページの製作やブログの定期的な更新を行い、当団体の **PR** を図ります。また、団体パンフレット、機関誌などの企画、製作を行います。

(3) シンポジウム等の開催

エコ人が関心を持つテーマのシンポジウム・講演会を開催します。

6. 環境学習施設等の管理運営事業

2010年4月から運営を受託している豊田市環境学習施設 **eco-T** の運営を実施します。中リのもとで実地研修してきたことを生かし、さらに豊田市民の強みを生かした運営を行います。

7. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

環境啓発グッズの製作・販売を引き続き行います。また、必要な事業があれば行っていきます。

【法人運営】

1. 会員

正会員 30 名、賛助・学生会員 30 名を目標に、会員を募集します

2. 寄付等

イベントや懇親会など、機会あるごとに運営資金の寄付を募ります。

3. 会議の開催

(1) 通常総会

7月11日（日）に、とよた市民活動センターにて、実施します

eco-T 受託の機に、外部講師を招いて、施設運営と組織づくりに関する講演会を開催します

(2) 理事会

月に1回程度開催し、中期ビジョンづくりや、運営上の課題等についての話し合いを行います

4. 研修等

施設運営の向上や学習事業の充実を図るため、ストップおんだん館のクリエイター等を招いて、スタッフや理事の研修を行います

2. 2010年度収支予算 (期間 2010年6月1日から2011年5月31日まで)

科 目	金 額 (円)		備考
I 収入の部			
1 会費収入			
1) 正会員会費収入	300,000		正会員30名
2) 賛助会員会費収入	25,000	325,000	賛助会員・学生会員30名
2 寄付金収入	10,000	10,000	
3 事業収入			
1) 環境学習事業	1,835,000		エコドライブ普及業務(6~3月)、出前講座10回など
2) 環境学習等への支援、連携事業	410,000		豊森なりわい塾(6~12月)、イベント出展3回など
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	0		
4) 調査研究、政策提言事業	0		
5) 情報発信事業	9,000		参加費
6) 環境学習施設等の管理運営事業	41,580,000		eco-T運営業務(6~3, 4~5月)
7) その他事業	0	43,834,000	
4 その他収入			
1) 受取利息	100	100	
当期収入合計			44,169,100
II 支出の部			
1 事業費			
1) 環境学習事業	1,468,000		エコドライブ普及業務、人件費、交通費など
2) 環境学習等への支援、連携事業	375,000		人件費、交通費、イベント材料費など
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	0		
4) 調査研究、政策提言事業	0		
5) 情報発信事業	24,000		
6) 環境学習施設等の管理運営事業	33,264,000		eco-T委託業務
7) その他事業	0	35,131,000	
2 管理費			
1) 役員報酬	0		
2) 給料手当	2,100,000		法人運営
3) 臨時雇賃金	0		
4) 福利厚生費	240,000		
5) 会議費	20,000		理事会10回、総会1回
6) 旅費交通費	30,000		会議参加交通費等
7) 通信運搬費	54,000		電話料2万4千円、郵送料3万円 等
8) 消耗什器備品費	0		
9) 消耗品費	212,000		事務用消耗品費等
10) 印刷製本費	120,000		パンフレット・チラシ印刷費
11) 光熱水料費	0		
12) 賃借料	120,000		事務所費
13) 保険料	30,000		損害保険料
14) 諸謝金・会費	20,000		会費
15) リース料	540,000		業務車両
16) 支払い手数料	1,212,000		IT、総務関係のサポート、振込手数料
15) 租税公課	25,000		収入印紙
16) 雑費	0	4,723,000	
3 予備費			
1) 予備費	0	0	
当期支出合計			39,854,000
当期収支差額			4,315,100
前期繰越収支差額			436,603
次期繰越収支差額			4,751,703

3. 役員の辞任

(1) 役員の辞任

理事会において2名の辞任を承認しました。

辞任した役員 理事 (2名)

河原 勝則、山口 重春

(2) 2010年度の役員

理事 8名

岩月 桂子

小泉 達也

坂本 竜児

長嶋 一枝

萩原 喜之

萩原 恵子

松浦 貴子

南谷 五郎

監事 1名

石村 正行

2010年7月 特定非営利活動法人 とよたエコ人プロジェクト

【団体所在地】

〒470-1207

豊田市鴛鴨町中高根 113 番地 1

エクセルタウン高根台D-101号

電話 0565-28-1956 FAX 0565-42-2805

【連絡先】

豊田市環境学習施設 eco-T (エコット)

(豊田市より学習事業を受託しています)

〒470-1202 豊田市渡刈町大明神 39-3

開館時間 9:00~17:00 休館日 毎週月曜日

TEL 0565-26-8058 FAX 0565-26-8068

<http://www.eco-toyota.com/>